



ボランティア部門
《食生活改善推進員》

消費・安全局長賞

うれしのし

嬉野市食生活改善推進協議会

(佐賀県) 活動期間 32年

郷土料理の伝承と、特産品のお茶について健康効果を伝えるとともに、お茶の飲用と茶葉を使った料理の普及活動

お茶を「食べる」 という新たな切り口から

郷土料理本の作成に当たっては、言い伝えや独特な材料・調理法等を詳細に記載し、他に類を見ない先人の知恵や食文化を継承するものとなっています。

また、「茶葉を食べる」ことは飲用以上に健康効果が高い部分があると言われており、本会ではさらに「茶葉を普段の食事でおいしく食べる」ことを茶葉料理の普及活動を通じて行い、地産地消と健康寿命の延伸につなげています。



郷土料理教室の様子



伝えよう 「おどんが町の郷土料理」

地元の高齢者から集めた情報をレシピ本「おどんが町の郷土料理」を作成し、季節の行事や言い伝えとともに伝承しながら、細く長い活動が途切れることなく続いています。

また、レシピ集「うれしの茶・家庭で楽しむお茶料理」を作成し、特産品を使ったレシピを紹介するとともに、これらを活用した料理教室を開催し、普及・啓発を行っています。



「おどんが町の郷土料理」

「うれしの茶・家庭で楽しむお茶料理」

小・中・高 市内全校への食育活動

校区内の担当委員が学校と直接連絡を取りながら、安全に楽しく食の体験が行えるよう配慮しています。

特に、高校生への料理教室は、平成24年から継続して実施しており、嬉野市食育推進計画の目標である「高校卒業までに簡単な料理が作れるようになる」に大きく貢献しています。



高校生への料理教室の様子

昔から伝え守られてきた食文化も徐々に忘れられていく現状に懸念を感じ、上記2冊の本が作成されました。本に盛られた先人の知恵や食文化、うれしの茶の良さを多くの人に伝え継承していくために努力しています。



嬉野市食生活改善推進協議会 会員一同